令和８年度　長崎県中学校総合体育大会

柔　道　競　技　実　施　要　項

１　日　　時　　令和８年７月２６日（日）・２７日（月）
　　１日目　8:30 開場　8:45～9:30 団体計量　9:45 審判監督会議　10:00 団体試合開始　13:30 競技終了後計量
　　２日目　8:30 開場　9:20 審判監督会議　9:30 試合開始 13:00 競技終了予定　13:30 九州全国説明会

２　会　　場　　諫早市小野体育館

３　参加資格
（１）各郡市町中体連加盟の学校に在学し、県中総体参加資格を得たチームとする。
（２）上位大会への出場権を得た場合、出場できるチーム・個人であること。
（３）チーム編成は以下のとおりとする。
　①団体戦（男子）　チーム編成は、監督（当該校の校長・教員・部活動指導員）１名、コーチ１名、選手３名以上、７名以内とする。体重順にメンバー編成を行う。チームで体重の一番軽い者が先鋒一番重い者を大将とする。補欠を入れる場合も体重順に編成する。一度退いた選手の再出場は認めない。また、３、４名でチームを編成している場合には大将からつめる。
　（女子）　チーム編成は、監督（当該校の校長・教員・部活動指導員）１名、コーチ１名、選手２名以上、４名以内とする。メンバー編成については、男子に準じる。また、２名でチームを編成している場合には大将からつめる。
　②個人戦　男子８階級、女子８階級を設ける。

（男子）
- 50kg 級（50kg 以下）
- 55kg 級（50kg を超えて 55kg 以下）
- 60kg 級（55kg を超えて 60kg 以下）
- 66kg 級（60kg を超えて 66kg 以下）
- 73kg 級（66kg を超えて 73kg 以下）
- 81kg 級（73kg を超えて 81kg 以下）
- 90kg 級（81kg を超えて 90kg 以下）
- 90kg 超級（90kg を超える）

（女子）
- 40kg 級（40kg 以下）
- 44kg 級（40kg を超えて 44kg 以下）
- 48kg 級（44kg を超えて 48kg 以下）
- 52kg 級（48kg を超えて 52kg 以下）
- 57kg 級（52kg を超えて 57kg 以下）
- 63kg 級（57kg を超えて 63kg 以下）
- 70kg 級（63kg を超えて 70kg 以下）
- 70kg 超級（70kg を超える）

（４）引率・監督について、中学校においては出場校の校長・教員・部活動指導員（学校教育法施行規則第７８条の２に示されている者。以下同じ。）とする。地域クラブ活動においては責任ある代表者・指導者とする。
（５）中学校においては、コーチを登録してもよい。ただしコーチは１校１名であり、複数の学校を兼務することはできない。また、当該校外の中学校教職員は、コーチになれない。
（６）長崎県中学校体育連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者（コーチ）等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。また、地域クラブ活動のチーム・選手の指導者等は、中央競技団体の倫理規程等に基づいて、長崎県柔道協会等から処分を受けていない者であることとする。校長及び代表者はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
（７）地域クラブ活動の参加資格についての詳細は、「長崎県中学校総合体育大会開催基準」及び「令和７年度長崎県中学校総合体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例各競技細則」による。（長崎県中学校体育連盟ホームページ参照）
（８）監督・コーチの服装は、審判員に準ずる。

４　参加制限
（１）男子　団体は、各地区・特別枠から１チームとする。個人は、各地区・特別枠から１名とする。
（２）女子　団体は、各地区・特別枠から１チームとする。個人は、各地区・特別枠から１名とする。
（３）ただし、団体に関しては、新人大会優勝校・準優勝校が同郡市町または特別枠の場合、当該郡市町・特別枠にシード枠１を加え、参加枠２とする。

５　競技規則
（１）国際柔道連盟試合審判規定(2025 年 4 月 1 日施行の新ルール)及び「少年大会試合審判規程」による。
（２）柔道衣は白色とする。
（３）(公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
（４）女子の黒帯使用は白線なしの黒帯を使用する。

６　競技方法
（１）団体戦
　①男子　リーグ・トーナメント方式による。
　②女子　リーグ・トーナメント方式による。ただし、出場チーム数によってトーナメント方式で行うこともある。
　③試合時間は３分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
　④勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差(『指導』の差２）」とする。
　⑤優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」=「反則勝ち」＞「技あり」＞「有効」＞「僅差」

　⑥リーグ戦の順位
　　ア　チーム間における、勝ち、引き分け、負けの率により決定する。
　　イ　アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
　　ウ　イにおいて同等の場合は、勝ちの内容による。
　　エ　ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
　　オ　エにおいて同等の場合は、負けの内容による。
　　カ　オにおいて同等の場合は、１名による代表戦を行う。
　⑦トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
　　ア　チーム間における勝ち数による。
　　イ　アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
　　ウ　イにおいて同等の場合は、１名による代表戦により決定する。

⑧代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、３分間の本戦で得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

（2）個人戦

①階級ごとのトーナメント方式で行う。

②選手数によっては、リーグ戦になることもある。

③試合時間は３分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。

④勝敗の判定基準は「一本」「技あり」「有効」又は「僅差(『指導』の差２）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア）で新たに指導差以上がついた時点で勝敗が決する。

7　計量・服装検査

（1）計量では、男子は下ばき（ズボン）のみ、女子はＴシャツと下ばき（ズボン）のみ着用することができる。できるだけ一回の計量で済むようにしておく。（九州・全国大会は１回のみ)

（2）服装については、現行の（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。服装検査後も最終的に審判員が初戦で確認し、不備があれば失格とする。ただし、試合中に破れた場合には大会本部で指示をするが、替えの柔道衣を準備するのが望ましい。

（3）柔道衣の背部にゼッケンを縫い付けること。ゼッケンの規格は以下のとおりとする。

【　例　】

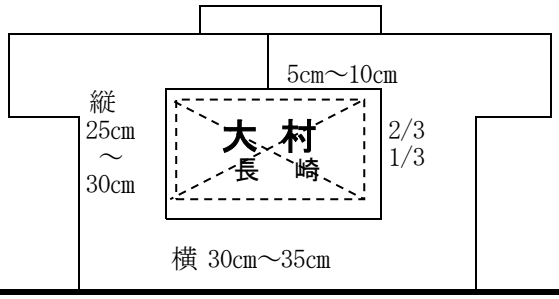
①布地は、白(晒、太綾)とする。

②サイズは、横30㎝～35㎝
　　縦25㎝～30㎝

③名字（姓）上側2/3、学校（チーム）名下側1/3

④男子は黒色、女子は赤色で太く横書きで書く。

⑤縫い付けの場所は後襟から5㎝～10㎝下部の所で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。



（4）女子選手は柔道衣の下に白のＴシャツを着用する。Ｔシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定（平成２５年４月１日より施行）に準ずる。

8　表　　彰　（1）団体戦　優勝チームに賞状・優勝旗、準優勝チームに賞状・準優勝杯、第３位までに賞状を与える。
　　（2）個人戦　各階級第３位までに賞状を与える。

9　申 込 み　参加資格を得たチーム及び個人は下記の要領で所定の参加申込書を令和８年６月２３日（火）までに原本１部を提出する。なお、参加料の振込みに関しては、６月２６日（金）を締切とする。

（1）中学校運動部活動：当該校長の承認を得、郡市町中体連を経て郡市町中体連事務局が一括して長崎県中体連事務局に提出する。参加料についても郡市町中体連事務局が一括して長崎県中体連事務局に振り込むこと。

（2）地域クラブ活動：所定の参加申込書に当該県競技団体会長の承諾を得、県中体連事務局へ１部提出すること。大会参加料は、それぞれで県中体連事務局へ振り込むこと。（振込手数料は自己負担とする）振込名義は、「ジュウドウ　●●●（チーム名）」とする。

［提出先］〒850-0003 長崎市片淵３－22－22
長崎市立片淵中学校内　長崎県中学校体育連盟　宛

［振込先］十八親和銀行本原中央支店　普通 1060440
長崎県中学校体育連盟　会長　江川健一

10　参 加 料　参加生徒一人あたり８００円とする。原則として入金後の返金はしない。

11　組 合 せ　組合せ・抽選は、各郡市町代表、競技団体代表、専門委員等で厳正に行う。

12　そ の 他

（1）申込み提出後、選手の負傷等で選手登録変更を必要とするときには、選手変更届（要押印）を監督会議までに提出すること。個人戦の選手変更は認めない。

（2）必要事項については、監督会議にて連絡し、申し合わせる。

（3）選手（団体戦の場合には選手全員）が試合場に現れなかった場合、場内放送でコールして 30 秒以内にその試合場の審判に申し出ない場合には失格とする。

（4）団体・個人の第１位は全国大会、第２位までは九州大会への出場の義務を負う。

（5）団体戦が終了後、団体戦入賞チームのみで表彰式を行う。また、個人戦終了後、個人戦入賞者のみで表彰式を行う。

（6）大会終了後、九州・全国大会に関する説明を行う。出場権を得たチームの監督は必ず出席すること。

（7）皮膚真菌症（トンズランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

（8）脳震盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。

①大会前１か月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（至急専門医の精査受診）

③練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。

④当該選手の監督は柔道競技専門委員長(大村市立大村中　永瀬)に対し、書面により事故報告書を提出すること。

（9）九州大会日程　８月７日(金)～８日９日(日）開催地　鹿児島県　鹿児島県総合体育センター体育館

(10) 全国大会日程　８月１８日(火)～８日２１日(金）開催地　岡山県　シゲトーアリーナ岡山

(11) 九州大会(１名３，０００円)全国大会(１名４，０００円)の大会参加費は、県大会当日に集金する。

(12) 本大会は、別に定める「長崎県中学校総合体育大会運営に関わる危機管理マニュアル」に則り実施します。参加者及び全ての関係者は、それらを遵守し、大会に参加してください。